

## 大陸

見たこともない、桃色に咲く一輪を  
緑にざわめきうねる野原に寝ころがり  
ファランドールの思い出が渡る青空へ投げる

寂しさは人の宿命<sup>さだめ</sup>と風は慰めを残し

サロンより追放されてこの辺境に暮らし  
貧しさと安らかさとに高貴な毎日を歩む

我が身が浮き上がるほどの広大な眺望  
歩いてても歩いてても同じ風景が続く  
おお、自由、全き自由よ

\*

流浪の彼に死は早かった  
敗北の中より抒情に誘われ  
さらに生に敗れて倒れた彼に  
俺は侮蔑と嘲笑をくれてやった

(1985.3.17)